

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

--2024年1月2日・第105号--

新年明けましておめでとうございます。

新春の慶びに浸っている日本列島を突然の地震が襲い市民を不安と恐怖に陥れています。

気象庁は、令和6年能登半島地震と名付けました。

犠牲となられた皆様にお悔やみを申し上げますと共に、被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

また、救援に当たる皆様に敬意を表し、安全とご健闘を祈念します。

被害の全容はまだまだはつきりしていません。

少しでも早く平穏を取り戻し、被害の回復がなされることを心よりお祈りします。

<目次>

●被告、川崎市のごまかしは許せません～台風19号玉川水害川崎訴訟～

■「西加瀬に市民ミュージアムと緑ゆたかな公園を！」と議会陳情したい！

▲お知らせコーナー

☆1/20 講演会「軍拡から《新しい戦前》が始まっている」

☆1/21 ゆめシネマ「ガザ 素顔の日常」

☆1/27 講演会～気候危機と平和の危機「海の中から地球が見える」

★編集後記

●被告、川崎市のごまかしは許せません～台風19号玉川水害川崎訴訟～

新年おめでとうございます。あの台風水害から5年目を迎えます。

<第9回口頭弁論での被告・川崎市のごまかし手法>

昨年、12月7日に、台風19号多摩川水害訴訟の第9回の口頭弁論が行われました。

今まで私たちは、①多摩川の水位が住民居住地の最低基盤を超えた時点、もしくは、②総合的判断で台風当日の17時(山王、宮内、諏訪)、19時(宇奈根)に樋管ゲート(水門)を閉めるべきだったと主張し、この時点で閉めていればどれくらい浸水が回避できたのかのシミュレーション結果の提出を被告(川崎市)に求めてきました。

被告代理人は、「シミュレーションのプログラムは委託業者の手元にあり、どうなっているのかわかりません。

お金と時間を用意していただければできますが、費用を被告が負担するつもりはありません。」と述べていました。

そう言うおきながら、今回、被告代理人は、各ゲートでの5分刻みの順流量(内陸から多摩川へ)、逆流量(多摩川から内陸へ)の膨大なシミュレーション結果を提出してきました。

この資料は2年間ずっと要求し続けてきたものを今頃になって出してきたのです。しかも、検証委員会の報告の後に作成されたものです。

その点を指摘すると「検証委員会の後で、業者に発注して出てきたもので、本来の委託契約は終了していましたが、裁判のために依頼して無料でやってもらったものです。」と回答。

なぜ、ずっと提出を求めてきたのに、どうして今頃になって提出したか、という指摘には「遅くなり申し訳ありません」と弁明するのみです。

検証委員会に出さずに裁判所の求めに応じて土壇場になって出さざるをえなかったと思わざるをえません。

<今年はいよいよ判決に向けての最後の山場の年です>

次回は、4月25日15時15分より横浜地裁川崎支部で第10回の口頭弁論があります。

4月になると裁判長が変わるので、次回は「更新弁論」として、今までの経過について原告側から30分ほどの説明の時間が取れます。

初めての参加の方にもよく分かる説明がされますので、傍聴をよろしくお願いします。

昨年から、裁判所に対して「公正判決を求める署名」(昨年末1572人分)に取り組んでいます。まだの方はぜひご協力をお願いします。

この1月には諏訪・北見方水害地域に私たちのニュース(TMASUI NEWS)を全戸配布し、原告への参加呼びかけ訪問を計画しております。

2000世帯の被害に対して、現在94名の原告団です。まだ、裁判を起こしていることを知らない被災者の方もおられます。ぜひ、お知り合いの方がいましたらご紹介をお願いします。

連絡先 事務局 船津了

メール fw7437@qa2.so-net.ne.jp

電話 044(434)4290

[署名用紙](#)

■「西加瀬に市民ミュージアムと緑ゆたかな公園を！」と議会陳情したい！

新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

私は「巨大物流倉庫を考える住民の会」の広瀬です。

皆さんに支えられて活動して4年になります。

毎週日曜日の16時～17時、元住吉駅で宣伝していると「もう工事しているでしょ！決まっちゃったでしょ！」という声が聞こえてきます。

「そうじゃない。まだ、間に合う」と声を大にしてお知らせしたいです。

<西加瀬地区計画への意見書が250通を超える>

11/20 提出期限の西加瀬地区計画の意見書を書いてもらうように声をかけました。

その結果、私の家のポストに入れて下さったり、手渡しして頂いたりして、川崎市に持参しただけでも252通もありました。

ネット提出意見と合わせればもっと増えます。

これら市民意見が今後審議会にかけられます。

地区計画が決定されるのは3月ごろです。まだ、大和ハウスからは協議書も、建設計画の承認申請書も提出もされていないのが実態です。

<西加瀬に「市民ミュージアム」と「緑の公園」を！>

生田緑地ばら苑の空地に等々力緑地で水没した「市民ミュージアム」を持っていく案が川崎市から出ています。

決定期限が12月とっていたら、実態は土地の選定のみで予算の決定はまだまだ先です。

ということは運動によっては変更が十分に可能だということです。

「新しい市民ミュージアムは、生田緑地ばら苑の貴重な緑・自然の破壊に連なる移設ではなく、川崎市の中央に位置し、10ヘクタールもある西加瀬の三菱ふそう跡地(巨大物流倉庫建設予定地)に持って来て！」と、川崎市民のみなさんと運動したいと思っています。

「西加瀬に市民ミュージアムと緑ゆたかな公園を！」と陳情署名をたくさん集めて、市議会に提出したい！と思います。

<新しく始める陳情について、アドバイスを募集します！>

陳情の項目を現在、住民の会で検討中ですが、次の3つを考えています。皆さんの意見はいかがでしょうか。ご意見をお寄せください。

- 1, 川崎市は、中原区西加瀬の三菱ふそう跡地での物流倉庫の建設計画を許認可しないこと
- 2, 川崎市は、中原区西加瀬の三菱ふそう跡地を買い上げること
- 3, 川崎市は、市民ミュージアムの移転先を生田緑地でなく、西加瀬にすること

新年は、1月7日4時から5時まで、東横線元住吉駅前で日曜宣伝を行います。

ぜひお手伝いをお願いいたします。

ごいっしょに運動しましょう！皆さんのご協力をよろしくお願いいたします！

巨大物流倉庫を考える住民の会 広瀬忠雄

連絡先(メルアド)いらない倉庫 <souko.iranai@gmail.com>

▲ お知らせコーナー

☆講演会「軍拡から<新しい戦前>が始まっている」

講師:山田朗さん(明治大学教授)

1/20(土)18時15分～

多摩市民館:大会議室

資料代:500円

主催:治安維持法国家賠償要求同盟

共催:治安維持法賠償同盟川崎支部

連絡先:044-931-3336・神奈川土建川崎西支部

[詳しくはこちら](#)

☆ゆめシネマ「ガザ 素顔の日常」

1/21(日)①9時 ②12時 ③15時 ④18時

かわさきゆめホール

一般:1,000円 障がい者:500円 学生以下:200円

044-433-3003 ゆめホール

cinama@kawasakiyume.com

[詳しくはこちら](#)

[予告動画はこちら](#)

☆講演会～気候危機と平和の危機

「海の中から地球が見える」

講師:武本匡弘さん(プロダイバー・環境活動家)

1/27(土)14時～

幸市民館第1会議室

会場費・資料代:カンパにて

主催:幸区革新懇、1.27後援会実行委員会

お問合せ:080-5653-6196・坂内

[詳しくはこちら](#)

★編集後記

2023年の一年の川崎市政をふりかえってみます。

2021年市長選で、過去最高得票を獲得し、3期目に入った福田市政の「福祉切り捨て、大企業優先の再開発」がいよいよ加速しています。

「川崎市総合計画第3期実施計画」と「川崎市行税制改革第3期プログラム」を市議会多数派の賛同を得て、次々と実行に移しています。

特に、第3回市議会での「喘息患者医療費助成制度」と「小児喘息患者医療費支給制度」の廃止、第4回市議会での「市民館・図書館への指定管理者制度導入」の決定は、市民多数の反対の声を切り捨てた最悪の暴挙でした。

しかし、福田市政の暴走に対抗する市民の共同の運動は、この1年、大きく広がっています。

公害反対運動のみなさんがよびかけた「まちづくり・環境運動川崎市民連絡会」には、9団体が参加し、ぜんそく患者の切り捨て反対と市民不在の再開発反対の運動を粘り強く展開しました。

反対運動とともに、北部と南部の「環境・まち壊しの現場を見るツアー」を1回ずつ実施し、現場か

ら学び、市民運動の果たす役割を再確認しています。

川崎民主市政をつくる会も呼びかけ団体となって2022年から始まった「いのちと暮らしを守る市民連絡会」は、要求で一致する10以上の団体がネットワークをつくり、それぞれの情報交換と共同行動に取り組みました。

その成果は、昨年11月17日の「第3回川崎市政の未来をかたるつどい」での9団体による市民リレートークに結実しています。“けっしてあきらめない市民の運動”が、「つどい」のステージで、川崎市内の北から南までが繋がったのです。

そして、「第3回川崎市政の未来をかたるつどい」には、160名が参加し、2025年市長選挙をたたく新たな出発点にもなりました。

2024年は、福田市政の暴走を止める市民多数の共同を飛躍させる大事な一年になっています。このメルマガ「新しい川崎」も、新たな書き手をどんどんお迎えして、市政の転換をめざす市民の共同のプラットフォームになるために頑張ります。

メルマガ編集部 市古博一

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/i03Jn5X03oNB?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp